

矢板用笠コンクリートブロック

NETIS登録番号：HK-110036-VE（掲載終了）

当社の笠コンクリートブロックは、従来工法（現場打ち工法）と比較し、工期短縮、工費の低減、工法の安全化、均一化を目標として、製品化を行いました。

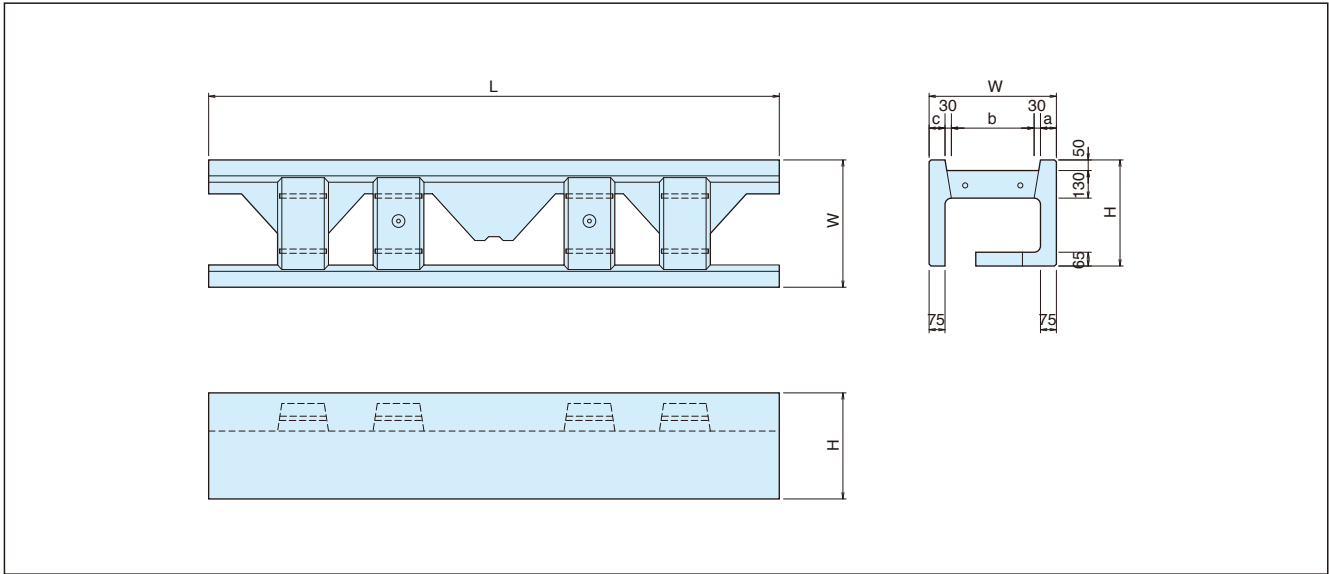


【特徴】

- 従来工法は、前面が水面等のため、L形鋼を溶接した支保工、足場等を必要としましたが、一体形状のプレキャスト製品により、直接矢板にかぶせ、高さ調整用金具で高さを調整し、据付後生コンを投入することで、陸上施工が可能になり、現場での型枠・鉄筋組立等の作業が不要となるため、大幅に工期が短縮されます。
- L形鋼溶接不要、機械布設が可能、仮設費の削減、工期の短縮等によって工費の低減が図れます。
- 水面側の足場や仮締切が不要のため、陸上施工が可能で施工管理が容易となり、またプレキャスト製品のため、外観も良く、工事の確実性、品質の安定性が確保されます。



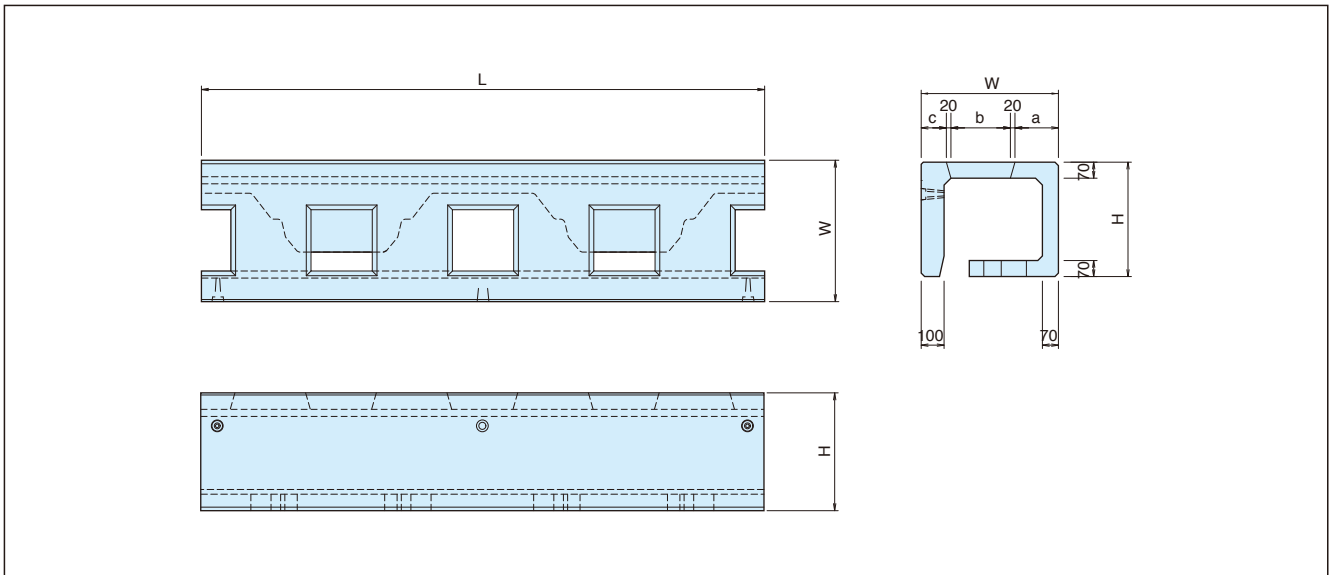
[形状図(ハット形鋼矢板用笠コンクリートブロック)]



[規格表]

型式			寸法 (mm)			参考質量 (Kg)	適応 矢板	中詰め コンクリート (m ³ /2.7m)
幅 W (mm)	高さ H (mm)	長さ L (mm)	a	b	c			
600	500	2690	75	390	75	703	10H	0.52

[形状図(矢板用笠コンクリートブロック)]



[規格表]

型式			寸法 (mm)			参考質量 (Kg)	適応 矢板	中詰め コンクリート (m ³ /9.6m)			
幅 W (mm)	高さ H (mm)	長さ L (mm)	a	b	c						
500	400	2390	90	260	110	510	I A・II・II A	1.03			
	500					610		1.33			
	600					714		1.63			
600	400		190			135	360	165	570	II・II A・II W・III・III A	1.31
	500								670		1.72
	600								770		2.13
700	500	135	360	165	710				II W・III・III A・III W・ IV・IV A・IV W		2.13
	600				800						2.61